



子育て通信

令和7年 9月

第341号



なんくる



みどり子育て支援センター「なんくる家」那覇市首里石嶺町4-216-3 (みどり保育園)

電話: 098-886-6044

ホームページ <http://midori-okinawa.com/>e-mail nankuruya310@gmail.com

一喜一憂甲子園 テレビの前に家族寄る 小さい島の大きな歓声

戦後80年、新聞の特集で知るむごい事実。スパイ容疑で家族全員、赤子までもが惨殺されたと言う真実を、無知なわたしはこれまで知りませんでした。

生きてこられた体験者の一人一人の口から語られる、むごたらしい話が本当に起こった事に人間の持っている残忍さに恐ろしさを覚えます。

被爆体験の老紳士が語りました。「体験者の話を聞き伝えることは大切です。が、それよりも、戦争を起こさないという、決意が大切だ」と・・・。

戦後80年、わたしは80才「ウチナー差別」「ウチナーコンプレックス」の真っ只中で青春を生きてきました。

その80年もの間に、沖縄の若者たちは「沖縄コンプレックス」を見事に打ち砕きました。そう沖縄尚学優勝の話です。

沖縄は今や避暑地と言われる中、甲子園が始まり、沖縄尚学が一回戦突破に湧き、燃えました。回を重ねるごとに沖縄中が熱く熱く燃え、自信満々の球児に大きな期待を寄せました。

沖縄と本土、政治では埋められない溝を感じますが、若者たちは心身の強さでプライドを持ち溝を埋めました。優勝という誇りを獲得しました。球児たちに心より感謝・・・。

さて、なんくる家の8月ですが、水遊びを中心に涼しい時を過ごせました。ブランコ広場にブルーシートを広げて小さなプールに水を張り、三々五々親子で自由に遊びます。

案外赤ちゃんの方が怖さ知らず、水への抵抗感が少ないのに驚きです。考えてみれば、赤ちゃんはお母さんのお腹の羊水でおよいでいたのかもしれないですね。水しぶきを受けながらママたちがプールサイドで見守ります。ミストが涼を誘います。

色とりどりのプールが大きなアサガオの花のようでもあり、涼しげでした。9月もプール遊びはこれまで通り、続けま〜す。おいでください。

久しぶりの渡名喜島報告。

8月の29日に鈴木さん(船橋市在の仲間)と渡名喜島に行ってきました。島の役場の保健師さんの主催で、未就学児の親子の交流会があり、そのお手伝いに行ってきました。未就学児が2人、父母も参加していました。少ない人数だからこそ必要な交流会なのでしょう。

主催するのは簡単な事ではない事を実感しました。しかし、予測していた以上に賑わい豊かな交流でした。それぞれの役割の中に愛を感じました。参加できて感謝。

施設長 石川キヨ子

・プレママさんも利用できます。妊娠や子育てへの不安もお気軽にご相談ください。

・保育園の見学もできます。その場合は事前に連絡をお願いします。

みどり保育園では、地域子育て支援の一環として、子どもの発育相談などいつでも相談にのります。親の子の悩みはもちろん、子どもの特性など一緒に考えて必要なところへ繋がります。

🚗 お車でお越しの際は、みどり保育園契約駐車場『ドミールk(アパート)3番から12番』をご利用下さい。園舎前の駐車場に駐車はご遠慮ください。